



# 朝風

平成31年度  
学校報No.36  
令和2年1月14日  
大仙市立  
大曲南中学校

## 2020年がスタート! 冬休み明け集会



1. 2年生から合格祈願巨大絵馬の贈呈

令和2年がスタートして2週間が過ぎました。平成31年度の残された登校日は、1, 2年生が45日、3年生は37日です。残りの学校生活においても充実した毎日になることを生徒とともに目指していきます。保護者の皆様、令和2年もよろしくお願いいたします。

さて、今日は、後期後半が始まるということで、冬休み明け集会を実施しました。最初に各学年を代表して、1年生 松○佑○郎さん、2年生 佐○里○さん、3年生 伊○叶○さんが、後期後半の目標を力強く発表しました。全校生徒も代表3人の発表を聞いて自分の新年の決意を改めて確認できたと思います。また、3年生へ、1, 2年生が心を込めて手作りした、合格祈願の巨大絵馬の贈呈もありました。

校長からは、箱根駅伝で自分たちを「ダメダメ世代」と称した監督の言葉に奮起して、栄冠を勝ち取ったチームの話をも例に挙げ、前向きに、しかも、ひたむきに頑張ることの素晴らしさと、自分を律しながら目標に向かうことの意義について話しました。そして、この姿勢を大切にしながら、3月までの学校生活を次の学年のステップにしてほしいことを告げました。1年生にとっては中堅学年になるための、2年生においては創立50周年を迎える最高学年になるための、3年生にとっては4月から始まる高校生活を始めるための締めくくりの期間となります。一人一人が抱いた誓いや決意を実現するために、全力で向かってほしいと思います。



○○さんの一般質問に対する安達生涯学習部長の答弁

○○さんの再質問(モニター映像から)

1月9日、大仙市役所3階の「本会議場」で、大仙市内11校の中学校の代表が参加して、中学生議会が行われました。この中学生議会は3年に1回開催されるもので、市議会の議場で未来を担う中学生が“議長や議員”となってまちづくりや教育行政など、生徒に身近なテーマについて一般質問の形式で質問、提案を行い、市政及び市議会への興味と理解を深めるとともに、総合的な学力の育成の推進を図ることを目的としています。議員席には各中学生の代表が2名ずつ着席し、向かい側には通常の議会同様に市長、副市長、教育長を始め各部長、今回傍聴席には市議会議員や教育委員の皆さんがお座りになりました。傍聴席が満席のため、ホールにはモニターも準備されました。本校からは小○田○音さんが、スポーツによる地域の活性化をテーマにあげ、一般質問として一流のスポーツ選手とふれあえるイベントや講演会を多く開催すること、各地区の運動施設の情報やウォーキング・ランニングコースが書かれた市民健康マップの作成と配布を求め、その是非を問いました。安達生涯学習部長からは、各種プロ選手によるクリニックや講演会が行われているので参加してほしいということ、市のホームページで運動施設等の情報を提供しているのを見てほしいとの回答がありました。これを受け、○藤○結さんが、さらなる周知の方法がないかと再質問し、吉川教育長からSNSやマスコミの活用等の方法が考えられるとの回答を得ました。議場に入る前は緊張した面持ちの2人でしたが、張り詰めた雰囲気の中で、原稿を見ることなく前を見据え、堂々と発言することができました。この貴重な体験を全校にも伝え、これまで以上にみんなで自分たちのふるさどである大仙市の未来を考え、自分たちで創造していく意欲を高めてほしいと思います。



リハーサル風景(一般質問)